本校の進路指導に関する新聞記事が掲載されました⑤

本校の進路指導への取り組みについて過日共同通信社より取材を受けました。

令和３年８月１４日付「高知新聞」に新聞記事が掲載されました。

高知新聞　2021年（令和3年）8月14日（土曜日）特集　22

コロナ禍 変わる大学受験 「全入時代」も現実味

地元・安全志向強まる

入試改革で混乱となった大学入学共通テストを巡る出来事と、新型コロナウイルスの影響が重なり、2021年度（今春）入学者の大学入試は従来とは大きく異なる様相を見せた。受験人口の減少に伴う志願者獲得競争は厳しさを増し、入学定員を下回る「大学全入時代」も現実味を帯びる。入試関係者が転換期を迎える中、目指す道を選ぶ受験生らの模索が続く。

大学入学共通テストに臨む受験生（1月、東京・本郷の東京大学）

教育現場には「次」を手応えを感じられず、不安目指す受験生や保護者らが　そうだった」と話す。　こうした事態は各地で　担当者は「大学や高校は　大学入試改革の混迷変更　今春入試の志願状況に　で揺れた今春入学者の例　今春入試の志願状況について、受験生の「地元志　を踏まえつつ、「結果的に　向」や「安全志向」が強　る志願者獲得競争に　まったと分析する。　で顕著だった。

「右往左往でした」茨　一方、吉田教諭は「コ　城県立藤代紫水高の進路　ロナ禍だからこそ、大学　担当、吉田真弘教諭は今　に対する危機感が増えた　春入試を振り返る。文部　ともとらえた。現役校を広　科学省は2019年11～　げてほしいと全国の国立　12月、大学入学共通テス　大学に関する情報提供に力　トの日程だった国語と数　を入れてきたが、これま　学の記述式問題、英語の　で生徒は近場を優先し　民間検定試験活用の撤回　りを決めた。実施まで1　年に迫る段階での方針転　換に現場は混乱した。

さらにコロナ感染拡大　で、政府は20年2月末に　一斉休校を要請、熱心な　生徒がいた。

「前例ができたので今春　も3～5月に休校した。　基礎力を高める期間に対　面授業ができず、予備校　の講習も行われなかった。　は、やはりコロナ禍だ。　吉田教諭は「生徒は　3年の和久井美純さん

今春入学者分の大学入試の主な特徴

- 受験人口減に伴う志願者獲得競争激化
- 大学入学共通テストは平均点上昇
- 大掛かりな入試改革を契機とした都市部の私立大で志願者増加の動き
- 新型コロナウイルス禍の影響（地元志向、国語・理社など両相系試験の人気）

オープンキャンパス参加を■志望校チェック小まめに

「行けるところ全部」の和久井美純さん

「行けるところ全部」の和久井さんは、「大学が良いと思っていたが、結局、強い誘惑に負けて、授業や友人との会話でメリハリをつけて」とアドバイスする。

今春の大学入試について語る藤代紫の吉田真弘教諭（茨城県取手市）

首都圏私大 敬遠の傾向

共通テスト 次回難化か

各地区受験生が受験した私立大の所在地占有率

※数値はその他の受験先。（）は前年度からの変動

今春入試に関する大手予備校の分析では、受験　ストは、平均点が前年の　大学入試センター試験よ　生の「地元志向」の強さ　りも、実績・知名度といっ　は続くとみる。

河合塾によると、今春　の私立大受験者の延べ数　は約32万人で約2割減少　した。新型コロナウイルス　禍の影響とみられる動き　が目立った。初導入で注　目された大学入学共通テ　ストは、平均点が前年の　予備校の分析では、受験　大学入試センター試験よ　り上昇、その反動で次回　難化するとみる。

河合塾によると、今春　の私立大受験者の延べ数　は約32万人で約2割減少　した。新型コロナウイルス　禍の影響とみられる動き　が目立った。初導入で注　目された大学入学共通テ　ストは、平均点が前年の　予備校の分析では、受験　大学入試センター試験よ　り上昇、その反動で次回　難化するとみる。

今春入試に関する大手予備校の分析では、受験　大学入試センター試験より